

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 77

東北森林管理局

取組名	間伐材の需要拡大の推進（継続）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署
実施箇所及び実施日	平成23年6月～平成24年3月
取組の背景及び必要性	伐採系森林整備の拡充と、これまでの未利用材（未搬出物件）の生産量への取り入れに伴い、木質バイオマスへの利用推進に資するとともに、需要開発、販路の拡大など積極的な対応が必要である。
取組の内容	<p>局と森林総研の試験地協定に伴い、試験に対する協力体制の充実を図る。</p> <p>平成22年度行われた森林総研の強度収穫間伐試験地の情報及び県内の素材生産業者、木材流通業者等へ低質材に関するアンケートについて取りまとめを行った。</p> <p>秋田署における平成22、23年度生産量と生産材の整理。</p>
国有林担当部局・役割	販売課・秋田森林管理署（業務第1・2課、流域管理調整官）指導普及課
連携協働相手先・役割	森林総研東北支所～試験研究及び試験結果等情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	データの整理と情報の提供
PRの実施状況及びその期待する効果	低質材の積極的な搬出と販路及び用途の拡大。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 78

東北森林管理局

取組名	民国連携集約化施業モデル団地の事業実施（新規）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署
実施箇所及び実施日	仙北市西木町：平成23年11月30日民国連携現地打合せ 仙北地域振興局：平成24年1月16日、2月14日打合せ会議
取組の背景及び必要性	民国の連携による森林整備の推進のため、平成22年度において締結した集約化施業モデル団地において、各種研修、現地検討会、低質材の搬出を実施することにより今後の集約化施業プランの策定に資する。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小白川地域集約化施業モデル団地において、現地情報の意見交換及び搬出ルートを選定を行った。</li> <li>・間伐調査を行い林況の把握を行なった。</li> <li>・打合せ会議を開催し、年度別事業実施計画の策定、民国連携による事業実施の問題点及び来年度の実施内容について協議した。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	販売課・計画課・国有林野管理課 秋田森林管理署（業務第1課、流域管理調整官）
連携協働相手先・役割	雄物川流域林業活性化センター（仙北地域振興局・仙北東森林組合・小白川地区森林所有者・小白川分収造林組合）と連携した事業実施。
取組の結果、反響、今後の課題等	現地打合せ、打合せ会議による情報の共有化 実施状況の情報公開（HP・広報誌等）
PRの実施状況及びその期待する効果	市町の林務担当者に民国連携の実施状況を説明し、管内の森林情報を提供。

【 参 考 資 料 】

取 組 名   |   民国連携集約化施業モデル団地の事業実施（新規）

民国連携による森林作業道の設定

民有林から作業道入口



国有林

民有林

民有林・国有林共用の作業道



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 79

東北森林管理局

取組名	森林ガイド事業とタイアップした治山見学会の実施（継続）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署
実施箇所及び実施日	秋田市仁別 平成23年10月27日（木）
取組の背景及び必要性	森林ガイド事業については、これまでも継続的に年2回実施しているところであるが、安全・安心への取り組みの一環として、年1回を治山見学会を組み入れたガイド事業を実施することにより一般市民（地域住民）の防災意識を高めるとともに、国有林野で実施している治山事業への理解を深める必要がある。
取組の内容	年2回の森林ガイド事業として「仁別国民の森散策ツアー」を実施し、天然秋田杉と紅葉の中を散策する、治山事業説明、治山工事の状況を見学して治山事業の必要性、安心と安全について説明した。
国有林担当部局・役割	業務第一課、治山課、森林官、流域管理調整官
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	仁別国民の森のPR 治山工事の重機による作業状況を間近に見ることができた。
PRの実施状況及びその期待する効果	秋田魁新報社、署HPにより参加者を募集。



【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林ガイド事業とタイアップした治山見学会の実施（継続）

仁別国民の森散策ツアー

天然秋田杉と紅葉の中を散策



治山工事の重機による作業見学



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 80

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れ等森林病虫害防除の強化（新規）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署
実施箇所及び実施日	森林病虫害防除対策連絡調整会議 仙北地域：10月31日（月）、秋田地域：11月7日（月）
取組の背景及び必要性	ナラ枯れ被害が拡大している中で、早期発見、早期駆除による拡散防止に努めることが必要不可欠であり、「守るべきナラ林」の対策を含め地域との連携により情報の共有化を図り、民国一体的な対策を講じる必要がある。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林病虫害の早期発見のため森林官・署内職員によるパトロールの実施。</li> <li>・森林病虫害防除対策連絡調整会議に出席し県内の被害状況について情報交換。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	秋田森林管理署（業務第一課・業務第二課・森林官）～巡視指導普及課～保護林保全保護対策
連携協働相手先・役割	秋田県・各市町村・湯沢支署～情報共有化
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県内のナラ枯れ情報の収集。</li> <li>・秋田署管内の今後のナラ枯れ防除について、県、市町村と連携した対応が必要。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	情報の共有、民国一体となった被害防止対策の実施。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 81

東北森林管理局

取組名	「レク森」仁別自然休養林のリフレッシュ対策（継続）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署
実施箇所及び実施日	仁別国民の森、4.26、6.11、7.29、10.1、11.15、11月～12月（歩道整備）
取組の背景及び必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年にリーディングプロジェクト実施箇所として、仁別自然休養林が指定され、これまでも周辺整備を実施し、平成21年度においては「レク森の個別方針」の見直しをしたところである。</li> <li>・今後については、周辺整備等の更なる充実を一般市民、関係機関等から求められていることから、引き続き対策を講じていく必要がある。なお、平成23年度については平成22年度7月の集中豪雨による被災箇所の復旧工事を計画。</li> </ul>
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア等による樹木見本園、かん木園内の遊歩道の整備、冬囲撤去、冬囲の実施、樹木名標柱の設置等を行った。</li> <li>・集中豪雨による被災箇所の復旧。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	指導普及課・国有林野管理課 秋田森林管理署それぞれ連携して実施
連携協働相手先・役割	・秋田市役所、仁別自然休養林保護管理協議会、仁別森林博物館ボランティア案内人会、太平山リゾート公園との連携によるPR活動と情報連絡の徹底。
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林浴、森林環境教育等の場として広く活用</li> <li>・太平山リゾート公園との連携によるフィールドの活用</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、広報誌、マスコミへのPR</li> <li>・レク森を快適なフィールドとすることにより、一般市民等の森林・林業、国有林野事業に対する理解が得られる。</li> </ul>



## 【参考資料】

取 組 名 「レク森」仁別自然休養林のリフレッシュ対策（継続）

- ・ボランティアによる冬囲い撤去及び冬囲い



- ・H22年7月の豪雨災害の復旧工事



- ・アサヒビール、ボランティア案内人、森林管理局の三者定による体験型森林環境教育の実施





## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 82

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れ等森林被害対策における地域との連携強化（継続）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署 湯沢支署
実施箇所及び実施日	湯沢ロイヤルホテル外 平成23年10月4日（火）外
取組の背景及び必要性	平成20年度に当支署管内で初めてナラ枯れが確認され、平成21年度には被害が拡大したことから、被害拡大防止を図るため早期発見、早期駆除に努め、「雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会」と連携して、林野巡視等の強化に努める必要がある。
取組の内容	平成21年度に急速に被害が拡大したことから、「ナラ枯れ被害対策セミナー」を開催し、現在の被害状況や取り組み状況並びに予防対策や今後の課題について、市民に広く周知した。 また、「雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会」を数回開催し、情報収集・共有に努めるとともに、官民一体となって巡視の強化、被害木の早期処理に取組ことを確認した。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 被害木の伐倒駆除。林野巡視の強化及び情報収集の構築。
連携協働相手先・役割	雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会 被害木処理の指導、情報の共有、協議会の開催等
取組の結果、反響、今後の課題等	今年度発見された被害木については薬剤注入処理を行った。 また、「雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会」との連携強化を図り、被害拡大を阻止するための林野巡視等の強化や情報収集を行う。
PRの実施状況及びその期待する効果	各メディアがナラ枯れについて大きく取り上げ、市民の関心が高く情報提供も予想されることから、林野巡視等の強化に努め、被害木については迅速に処理していく必要がある。

【参考資料】

取組名 ナラ枯れ等森林被害対策における地域との連携強化（継続）



【平成23年10月4日（火）  
ナラ枯れ被害対策セミナー  
主催者代表の挨拶】

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 83

東北森林管理局

取組名	地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理 (継続)
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署 湯沢支署
実施箇所及び実施日	平成23年7月27日(水)、平成23年10月26日(水) ほか 雄勝郡東成瀬村仁郷山国有林外
取組の背景及び必要性	栗駒山周辺地域を中心とした国有林内での山菜採り等の遭難や、高山植物の盗採を防止するため「栗駒山系遭難対策協議会」を中心とした、遭難防止の啓蒙活動が必要であるほか、ゴミの不法投棄にも対処することが必要である。このため、地元市町村、警察署、NPO等と連携を図り、自然環境等の保全管理が必要となっている。
取組の内容	「栗駒山系遭難対策協議会」と連携し啓蒙看板の設置、チラシ配布、遭難防止パトロール等を実施してきたところであり、特に当支署では入林禁止ロープ、林野巡視を主体に実施。また、高山植物の保全については、チラシ配布、パトロールを実施したほか、高山植物盗採防止取締では、警察署、NPOの協力を得て検問等を行った。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 林野巡視、入山禁止ロープ・看板の設置、クリーンアップ等
連携協働相手先・役割	地元市町村、警察署、NPO法人等 林野巡視、看板の設置、クリーンアップ等
取組の結果、反響、今後の課題等	栗駒山周辺の保全管理に向けた国有林の先導的な取組は地域からも高く評価されているところであり、今後とも一般市民を巻き込んで取組を強化していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	取組にあたっては、市町村広報誌、報道機関へのプレス等により周知するとともに、ホームページで取組を紹介し、市民に保全管理の大切さをPRしていく。

【参考資料】

取組名	地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理 (継続)
-----	-------------------------------------



【クリーンアップ活動】



【高山植物盗採防止取締】



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 84

東北森林管理局

取組名	民・国有林を通じた林業労働災害防止対策充実強化への取組による林業事業体育成の推進（継続）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署 湯沢支署
実施箇所及び実施日	林業安全大会の日（平成23年7月7日（木）） 林業安全管理講習会（平成23年11月18日（金））
取組の背景及び必要性	管内の民有林における重大災害の発生を教訓にし、横手、湯沢、雄勝地域における民・国含めた林業従事者の労働災害の絶滅と、林業事業体の育成、推進を積極的に図る。
取組の内容	7月7日に、管内の林業従事者約300名が湯沢市の「湯沢市文化会館」に集まり、林業安全大会の日を開催した。当日は「林業作業の安全衛生対策」「林業における災害事例と労働災害防止対策」の講演と災害防に向けた実演等について横手労働基準監督署等から説明があり、災害の絶滅を誓った。11月18日には、横手市の民有林内で「広葉樹の伐採作業の安全管理について」の林業安全管理講習会を開催し、災害の未然防止策について現場実習を通じて学んだ。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 林業安全大会の日、林業安全管理講習会の開催企画。
連携協働相手先・役割	秋田県労働基準協会横手支部、横手労働基準監督署、横手・雄勝広域の各森林組合。 管内事業体への呼びかけ、講師依頼、フィールドの提供。
取組の結果、反響、今後の課題等	平成15年度の林業安全の日大会等の開催以降、災害件数の激減が図られていることから、今後も企画内容を充実させていくとともに、過疎化や高齢化により地域林業の担い手となる林業事業体の健全な育成が喫緊の課題となっている。
PRの実施状況及びその期待する効果	林業関係者が一同に会する「林業安全の日大会」の開催は他地域では見られない取組であり、安全意識向上等に対する評価は高い。

**【 参 考 資 料 】**

取 組 名	民・国有林を通じた林業労働災害防止対策充実強化への取組による林業事業体育成の推進（継続）
-------	--



**【秋田県労働基準協会横手支部林業安全大会での支署長の挨拶】**

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 85

東北森林管理局

取組名	森林教室、林業体験等の森林環境教育の促進（継続）
流域名	雄物川流域
森林管理署名	秋田森林管理署 湯沢支署
実施箇所及び実施日	平成23年6月～10月 湯沢市役内字役内山国有林外
取組の背景及び必要性	森林・林業や国有林への一層の理解と向上に向けて、小・中・高の生徒等、一般市民を対象とする自然観察会、林業体験や、企業の社会貢献活動等を通じて、森林の公益的機能への理解と森林環境教育の増進を図る必要がある。
取組の内容	「森林ふれあい推進事業」の実施や、「社会貢献の森」で水と緑のネットワーク等と連携し、国有林をフィールドとした広葉樹の保育、植樹作業を実施。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 企画、実施、フィールドの提供。
連携協働相手先・役割	東成瀬村、湯沢市、雄勝地域振興局、雄物川上流地域「水と緑のネットワーク」、NPO法人 森林教室の企画、実施、インストラクターの派遣等
取組の結果、反響、今後の課題等	森林ふれあい推進事業、林業体験を通じて、森林の公益的機能の理解の増進、国有林への理解が向上。 更に企画等の充実向上を模索することが必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	森林ふれあい推進事業に限った報道機関へのプレスとなったが、今後はホームページ、市町村広報誌の活用を積極的に行い、「開かれた国有林」のPRに努める。

【参考資料】

取組名	森林教室、林業体験等の森林環境教育の促進（継続）
-----	--------------------------



【林業体験の実施風景】